



保健 保健福祉課からのお知らせ

問 保健福祉課 国民健康保険係
☎476-1111(135)

◆『国民健康保険』のいろは！



その4 ～ジェネリック医薬品で医療費節約！～

ジェネリック医薬品（後発医薬品）は、最初に作られたお薬（新薬：先発医薬品）の特許が切れてから作られた薬です。新薬と同等の効果を持ち、新薬より安価な医薬品です。

●ジェネリック医薬品のポイント

- ① 新薬と有効成分が同じなので、同等の効果が得られます。
- ② 開発コストが少ないので、新薬より安価です。
- ③ これまでに使われたことのある薬なので、安心して利用できます。

●ジェネリック医薬品を利用するときは

※ジェネリック医薬品の処方が可能かどうか、受診時にお医者さんに相談してみましょう。

- ・すべての新薬にジェネリック医薬品があるわけではないので、変更できないこともあります。また、病院によっては扱っていないところもあります。
- ・薬代が下がっても、自己負担額が新薬使用時と変わらない場合もあります。
- ・お医者さんが使用を認めない場合は切り替えることができません。

～その他の医療費節約方法～

その1. 『早朝・夜間の受診を控える』

早朝・夜間や土曜日の午後も診療時間としている診療所では、診療時間内であっても、8時前や18時以降（土曜日は12時以降）に受診すると、割増があります。（※薬局も同様です。）

その2. 『同じ病気での複数受診を控える』

安易な理由で受診病院を変えると、『初診料』を再度支払ったり、すでに受けた検査も繰り返したりすることにもなります。また、同じ薬を処方される可能性もあります。

大崎町の医療費

区 分	診 療 年 月	国民健康保険		
		一 般 分	退 職 者 分	合 計
被保険者数	平成 25 年 2 月	4,471 人	246 人	4,717 人
	平成 24 年 2 月	4,659 人	289 人	4,948 人
医療費総額	平成 25 年 2 月	129,552,305 円	6,154,387 円	135,706,692 円
	平成 24 年 2 月	138,760,750 円	6,330,843 円	145,091,593 円
区 分	診 療 年 月	一般被保険者分	退職被保険者分	全被保険者分
一人当たり 医 療 費	平成 25 年 2 月	28,976 円	25,018 円	28,770 円
	平成 24 年 2 月	29,783 円	21,906 円	29,323 円